

フリーランスが最も働きやすい島化計画 (第3ステージ)

「どこにいてもできる仕事、ここでしかできない暮らし」

フリーランスとは（奄美市の定義）

奄美市では、「自らの才覚や技能を提供することにより、社会的に独立した個人事業主及び小規模事業者、副業者や2拠点居住者も含む」と定義しています。

フリーランスが最も働きやすい島化計画の理念

奄美群島成長戦略ビジョンの重点3分野のひとつ「情報（ICT）」を活用し、「稼ぐ力」の向上に資するため、フリーランス、小規模事業者を支援することにより、奄美市における仕事誘致、定住促進、子育て支援（在宅ワーク支援）、副業支援及びフリーランスのビジネス性向上につなげることを基本理念とする。

フリーランスが最も働きやすい島とは

以下 6 つの環境が整っていること

- 1 Work Place(ワークプレイス) … 仕事をできる場所がある
- 2 Skill Up(スキルアップ) … 学びの場がある
- 3 Network(ネットワーク) … 仲間と繋がれる
- 4 Help(ヘルプ) … 相談・フォローする体制がある
- 5 Monetize(マネタイズ) … 仕事を得られる機会がある
- 6 Life(ライフ) … 生活の満足度が高い

「島フリーランス」とは

フリーランスの中でも、奄美らしい特色あるフリーランスを「島フリーランス」と称し、「島フリーランス」は以下のすべてに該当する者とする。

- ・「島の暮らし」を楽しむフリーランス
- ・「地域との関わり」を大切にするフリーランス
- ・「チャレンジ」するフリーランス

フリーランスが最も働きやすい島化計画（第1ステージ）の振り返り

第1ステージ(H27～R1)

○背景

産業振興、人口減抑制の政策を進める中で、大規模な産業のない外海離島である奄美市では、地域の雇用が少ないことがネックになっていた。一方で技術力をもつエンジニア、職人が少しずつUターン、Iターンしており、また、フリーランスとしてクラウドソーシングで仕事を発注する人、受注する人が増加してきていた。そこで、ICTを活用するフリーランス、小規模事業者を対象に支援を実施することとした。

○取り組み状況

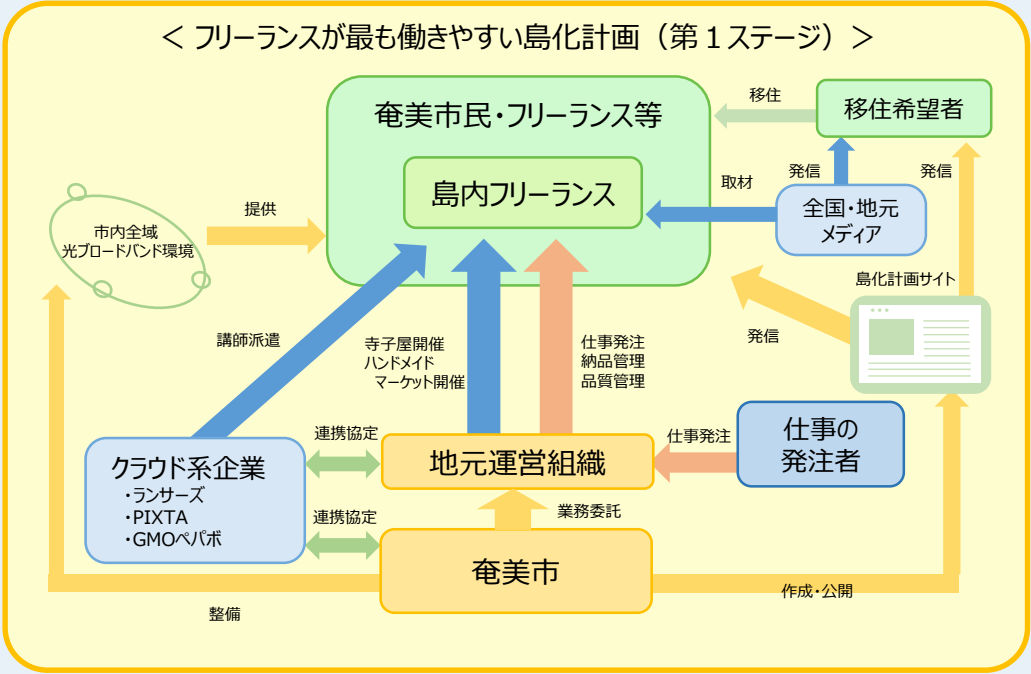
- ・「フリーランスが最も働きやすい島化計画」を策定。活動をホームページとSNSで拡散。
- ・人材育成講座「フリーランス寺子屋」を年間開催により学びの場の提供。
（対象：WEBライター、観光フォトライター、ハンドメイド作家）
- ・クラウド系企業との連携協定締結。（H27:ランサーズ、H28: PIXTA、GMOペパボ）
- ・H29年度よりオンライン人材教育として100名受講無料化。（スクー協力）
- ・光ブロードバンド市内全域整備による働きやすい環境整備。
- ・H28年度よりハンドメイド作家の発掘・育成・活動広報等を目的に、ハンドメイドマーケット(即売会)を毎年開催（延べ動員数：2,850人）

○計画目標達成状況

奄美市のフリーランスを5年間で200名育成	育成者数: 202名
奄美市にフリーランスを5年間で50名移住実現	フリーランス移住者数: 38名 ※家族含む。フリーランス支援窓口を訪れた方のみ。
子育てをしながら年収150万円のフリーランス育成	ライター系: 約5万円/月 ※現在は島外で活動中
年収300万円のフリーランスの育成	ライター系(カメラマン、HP作成を兼業): 260万 ハンドメイド: 300万

●振り返り（総括）

- ⇒職種・スキルを複合化（ライター＋カメラマン＋HP作成）した方や、オンライン販売を行うハンドメイド作家からモデルケースとなる、成功事例が創出された。
- ⇒近年は働き方の多様化が進む中、フリーランスの業種の幅は拡がりを見せており、フリーランス同士がプロジェクト毎に共同体を形成し受注業務が多様化・高度化することでビジネス性が高まる見込み。
- ⇒フリーランス予備群となる、新たな子育て世代の出現。



☆今後の課題

「モデルケースの普及」と「コミュニティ形成支援」を推進し、ビジネス性のさらなる向上が求められる。

フリーランス支援は
次のステップへ

フリーランスが最も働きやすい島化計画（第2ステージ）の振り返り

第2ステージ（R2～R6）

○概要

第2ステージでは、フリーランス支援拠点として、コワーキングスペースや会議室商品開発スペース、お試しサテライトオフィス等の機能を備えた施設「WorkStyle Lab Inno」を整備した。また、当施設へコミュニティマネージャを配置することで、各種相談対応やマッチング支援、交流イベント等の開催など総合的なマネージメント機能を備えた体制を構築し、フリーランスのコミュニティ形成支援やビジネス性の向上を図る支援を行うこととした。

○取り組み状況

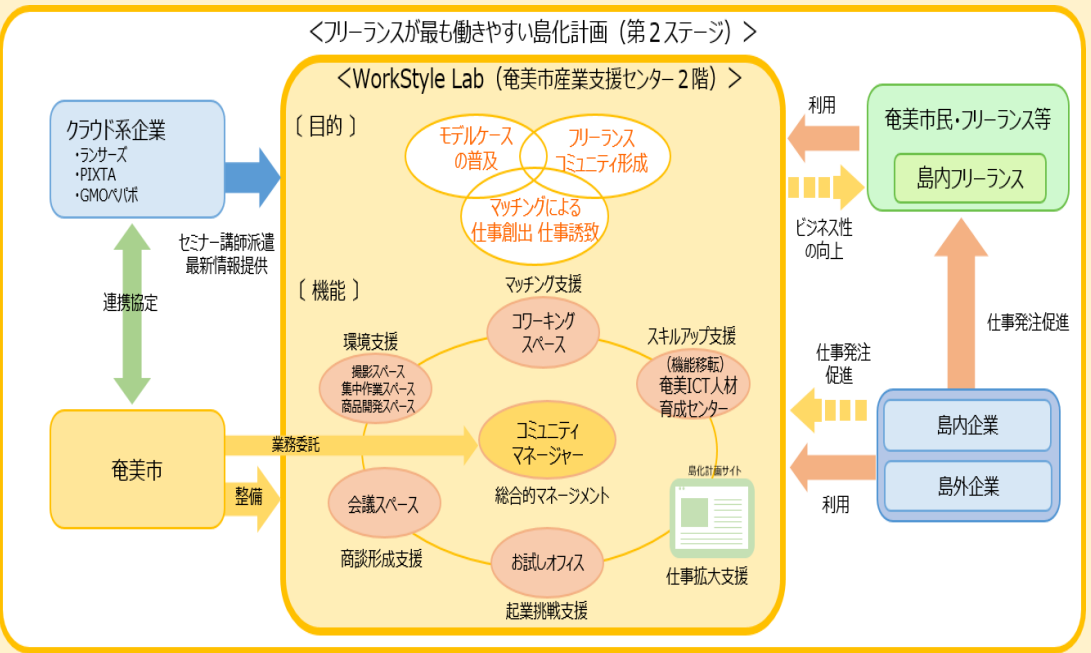
- ・人材育成講座「フリーランス寺子屋」の開催による学び・スキルアップの場を提供
- ・フリーランス支援拠点となる「WorkStyle Lab Inno」の整備
- ・コミュニティマネージャ配置による総合的なマネージメント
 - コミュニティ形成支援（フリーランス交流イベントの開催、コミュニティボード設置）
 - 各種相談窓口（常設、相談会の実施）
- ・連携協定企業との連携（講師派遣・紹介等、ハンドメイド作家の伴走支援、ハンドメイドイベントへの出展協力）
- ・ハンドメイド作家の発掘・育成・活動広報等を目的に、あまみハンドメイド大賞（コンテスト）、ハンドメイドマーケット（即売会）の開催

○計画目標と実績

計画目標 (KPI)	実績 (R2-6)
新たなフリーランスを5年間で25名創出	17名
新たなフリーランスの移住支援を5年間で25名実現	16名 (※家族は含まない)
子育てをしながら年収60万円以上のフリーランスを10名育成	16名
年収300万円のフリーランス4名育成	8名

○振り返り（総括）

- ・収益の向上だけを目的にするのではなく、現在の暮らしを大切にしながら、副業的にフリーランスとして活動したいというフリーランスのニーズが多く見受けられた。ワークライフバランスにおいてはライフに重点を置くフリーランスも多いことから、ワークの面ではいかに生産性を向上できるか（スキルアップ）が重要である。
- ・ハンドメイド作家の間で、コミュニティが形成され、自主的に販売会やイベントを企画開催する事例が創出された。
- ・「フリーランスが最も働きやすい島」とはどのような島なのかを可視化する必要性



☆今後の課題

奄美らしいフリーランス「島フリーランス」の可視化・持続可能なフリーランスコミュニティの構築が求められる。

フリーランス支援は
最終ステージへ

フリーランスが最も働きやすい島化計画（第3ステージ）

第3ステージ（R7～R9）

「コミュニティリーダー」の育成やフリーランス間の「スキルシェア」の促進を支援し、コミュニティ強化を図ることで、計画終了後の自走体制の構築を支援する。
また、奄美の特徴的なフリーランスモデル「島フリーランス」を見える化し、情報発信することで「**フリーランスが最も働きやすい島**」の定着を目指す

○第3ステージにおける3つの柱

1 「島フリーランス」の可視化（フリーランスが最も働きやすい島の発信）

- ・島で活動する生活満足度の高い「島フリーランス」のロールモデルを可視化し、奄美らしい働き方の情報発信を強化する。
- ・奄美で活動する島フリーランスの情報プラットフォームを整備し、仕事の創出につなげる。
- ・移住希望者向けに、フェーズごとの島との関わり方に関する情報を発信する。

2 持続可能な島フリーランスコミュニティの形成（コミュニティリーダーの創出、スキルシェアの促進）

- ・島フリーランスの中からコミュニティリーダーを創出し、コミュニティの強化やスキルシェアの促進を図ることで、持続可能な島フリーランスのコミュニティ形成を支援する。

3 フリーランス支援拠点の機能強化

- ・島フリーランスのスキルアップやリスキリング、交流に繋がるイベント等情報の集約化
- ・「島フリーランス交流会」の実施

○継続的・発展的支援

- ・フリーランス支援（相談）窓口
- ・ICTを活用したライティングスキル・WEB制作・ハンドメイド作品の販売・SNS運用等を実践的に学び、スキルアップを目指す「フリーランス寺子屋」の開催
- ・ハンドメイド大賞・マーケットの開催によるハンドメイド作家の伴走的支援
- ・コミュニティマネージャーの配置（各種交流イベントの開催、Hub機能強化、ワークショップ等の開催）

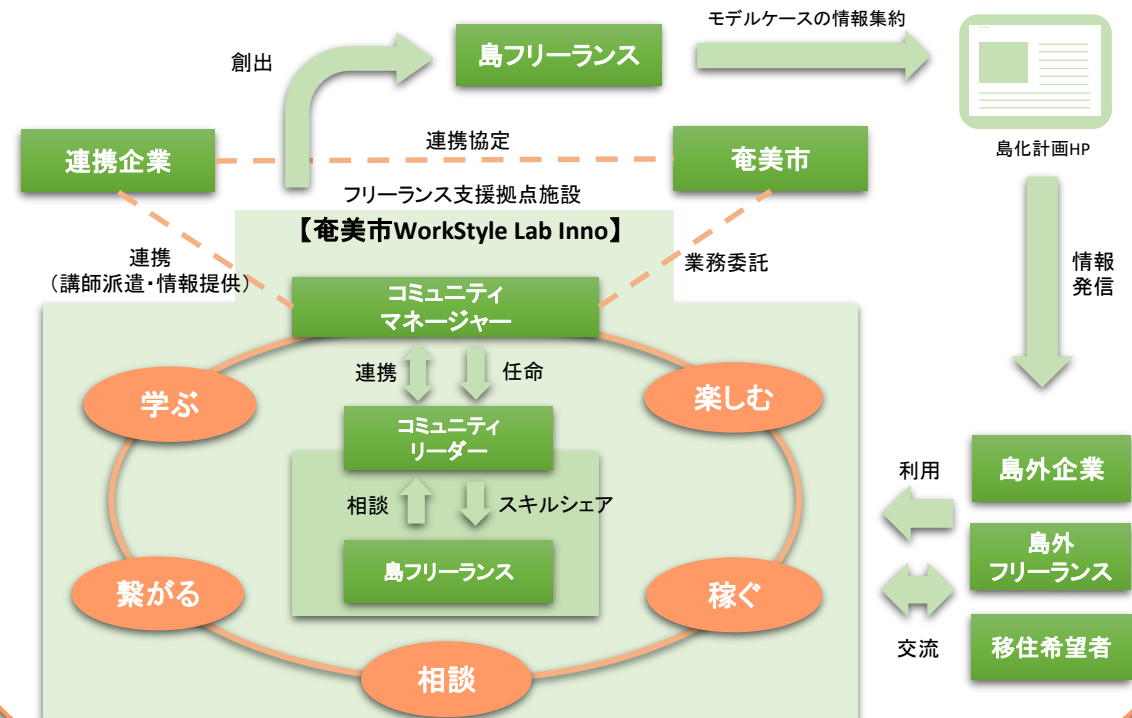
○島化計画が目指すもの

- ・子育て、家族、プライベートの時間を謳歌できる暮らし
- ・地域、仲間との繋がりを持てる暮らし
- ・チャレンジできる島

奄美らしいフリーランス「島フリーランス」

「どこにいてもできる仕事、ここでしかできない暮らし」

【フリーランスが最も働きやすい島化計画（第3ステージ）】



フリーランスが最も働きやすい島化計画（第3ステージ）～「島フリーランスの情報発信」と「自走化支援」～

○フリーランス支援事業の今後の展開

人材の育成・環境整備

- 「フリーランスが最も働きやすい島化計画」を策定
- 人材の育成（基礎・ノウハウ）
 - ・「フリーランス寺子屋」を年間開催
 - ・クラウド系企業との連携協定締結（ランサーズ、PIXTA、GMOペパボ）
 - ・オンライン人材教育（スクー協力）
- 環境整備
 - ・光ブロードバンド市内全域整備
 - ・コワーキング施設「コワーキングスペースかさり」開設

H27～R1

第1ステージ（奄美モデル構築期）

モデルケースの普及・コミュニティ形成支援

- 「フリーランスが最も働きやすい島化計画（第2ステージ）」の策定
- トップランナーのロールモデル化（成功事例の波及）
- WorkStyle Labの整備
 - ・多様な働き方に対応する施設整備
 - ・ICT人材育成センターの機能移設
 - ・コミュニティマネージャー配置
- ビジネス性の高度化・人材の高度化
 - ・モデルケースの普及
 - ・ビジネスマッチング支援
 - ・学びの場の創出
 - ・コミュニティ形成支援
 - ・フリーランス支援サイトを活用し仕事受注増加

R2～R6

第2ステージ（奄美モデル普及期）

情報発信・自走化支援

- 「フリーランスが最も働きやすい島化計画（第3ステージ）」の策定
- 「フリーランスが最も働きやすい島」の情報発信
 - ・島化計画HPの改修
 - ・島フリーランスのプラットフォーム整備によるマッチング支援
 - ・「島フリーランス」の可視化
- 島フリーランスの自走化支援
 - ・コミュニティリーダーの創出
 - ・コミュニティ強化
 - ・スキルシェアの促進
- WorkStyle Labの機能強化
 - ・情報の集約
 - ・島フリーランス交流会

R7～R9

第3ステージ（奄美モデル定着期）

○目標値（3年後）

1. 島フリーランスのスキルアップ支援者数90名
2. 新たなフリーランス移住者15名創出
3. 有収益の子育て・副業フリーランスを30名育成
4. 島フリーランスの幸せ（ワークライフ）満足度数（80%）
5. コミュニティリーダーの創出3名

AMAMI FUTURE DEVELOPMENT GOALS

